

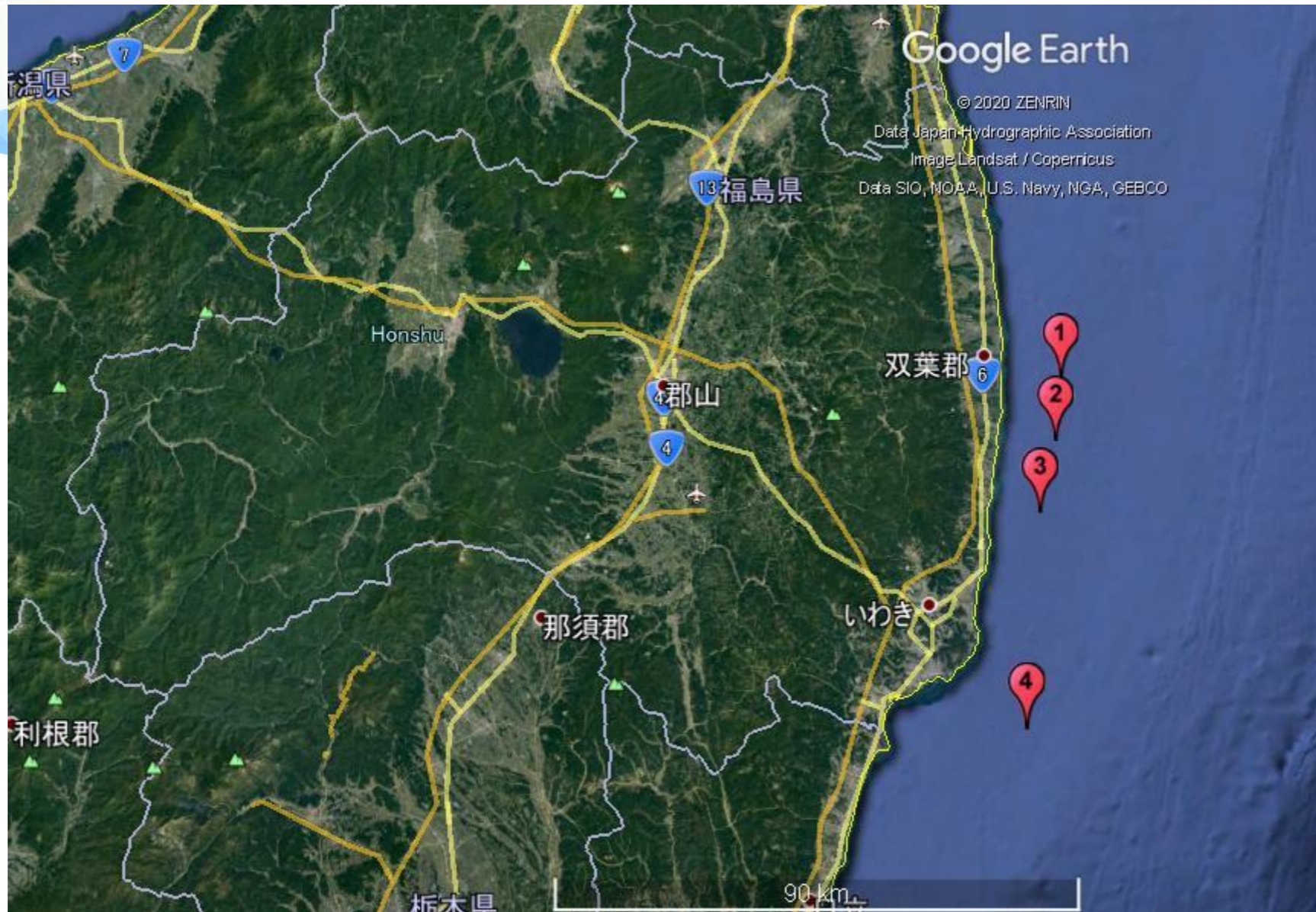
# 海水採取地点



福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。  
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域で試料の採取をしています。  
※1.5km以内は東京電力の敷地となっています



# 海水採取地点



- ① 福島第一原発沖
- ② 福島第二原発沖
- ③ 双葉郡広野沖
- ④ いわき市小名浜沖

## 海水の測定方法について

海水のセシウムとストロンチウム90の測定には、採取した海水をろ紙でろ過した海水を試料として使います。しかし、海水をろ過することにより、細かい砂や肉眼では確認できない小さな生きものは、ろ紙に吸着され、測定する海水部分に含まれないようになってしまいます。そのため、それらの浮遊物(砂や生き物)に含まれる放射性物質の測定値を知ることはできません。

そこで、たらちね では、日常の中の海水とはどういう状態のものか? を考えました。その結果、細かい砂や生き物も含めた海の水 全体か海水なのではないかという結論に至りました。したかつて、たらちねでは、たらちね以外の分析機関で測定するのと同じく、ろ過した海水の測定を行うと同時に、海水の中に浮遊している 砂や生き物の測定も行なっています。

海水の測定結果と浮遊物(砂や生き物)の測定結果は、それぞれに項目を分けて設けています。浮遊物の測定値は、その地点の1Lの海水中に含まれる浮遊物の放射性物質の濃度となります。

# 第5回 2017年2月1日 【いわき沖】

【海水 測定結果】	海水 表層		海水 下層	
北緯	36° 55'			
東経	140° 58'			
水温	—			
水深	30 m			
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/L)	ND	0.016	ND	0.016
自由水型トリチウム (Bq/L)	ND	2.76	ND	3.11
ストロンチウム90 (Bq/L)	ND	0.0006	ND	0.0005

【魚 測定結果】	アイナメ		アイナメ		アイナメ		アイナメ		ムシカレイ		ヒラメ	
重量	0.501 kg		0.599 kg		0.205 kg		0.330 kg		0318 kg		1.109 kg	
体長	—											
北緯	—											
東経	—											
水温	—											
水深	—											
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/kg生)	ND	1.90	ND	2.49	ND	2.20	ND	1.76	ND	1.42	2.30±0.70	1.70
セシウム134	ND	1.90	ND	2.12	ND	1.69	ND	1.52	ND	1.09	ND	1.70
有機結合型トリチウム (Bq/kg乾)	ND	2.10	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	1.37
ストロンチウム90 (Bq/kg乾)	ND	0.17	—	—	—	—	—	—	ND	0.15	ND	0.16

※ ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

※ 海水→自由水型トリチウムとは、環境中や生物体内に水の状態で存在するトリチウムのことです。

※ 魚→有機結合型トリチウムとは、環境中や生物体内の炭素・酸素などに結合して存在するトリチウムのことです。